

(秘)

次長同文

大正十四年五月九日

電報 五月四日午後八時十分着

陸軍次官宛 薩哈連州派遣軍參謀長

外二六五

北薩哈連在住日本人カ當該「三エスエル」官憲
 ノ許可ヲ經テ日本人會ヲ設立スル場合ニ於テ該
 日本人會ニ對シ今田、引渡サレタル官有財産ニ
 就キ或種ノ權利ヲ賦與セラレ度トノ日本軍ノ
 望ニ関シテハ同會設立ノ認可ヲ申請スルニ當リ
 不動産使用上必要トスル權利ニ就キ規定ヲ設ケ
 得可キ儀ナルコトハ自明ノ理ト謂フ可シ
 (原語「ブレドスツリヤ」チナヤ、オチエウ「ドヌイム」)

MT

52633

4233

5-0527

0305

(秘)

大正十四年五月五日

電報

陸軍次官宛

外二六六

外二六〇ノ續

五月三日午後五時十分發
五月四日午後八時廿二分著
薩哈連州派遣軍參謀長

島田領事ハ命ニ依リ「アボルケン」ト協議
結果(附記)ヲ劑リ別ニ再特別聲明ヲ先
方單獨ニテ附ル事ニ讓歩シ雷地防備隊
司令ハ之レニテ満足セルカ目下海軍省(モ)請
訓中ナル關係モアリ本日ノ調印ヲ明日
延期セリ日本軍ノ撤去切迫セル事情ニ
鑑ミ艦船現在ノ位置及狀態ノ儘受理
スルコトニ同意スルト共ニ(ハ)ハ艦船ヲ浮游

狀態「フ、プラワエシケエム、ソストヤニ」及整備セ
ル形式「イスプラフノスケ」ニ於テ之レヲ引渡スノ
必要アリトスル自己ノ見解「トチカ、ズレーニヤ」
ヲ引續キ正當ナリト称シ「スケタナチ、プラウ
イリ又イム」居リ是レ以上ハ政府(單數ニシテ)
即チ勞農ノ事ノ意志「ウスモトレ」ニエ
委ヌ可キ事ヲ聲明スルノ光榮ヲ有ス

MT 52633 4235

MT 52633 4234

5-0527

0306

總長 同文

大正十四年五月五日

電報 五月四日午後三時四十分發

陸軍大臣宛 陸軍司令部

陸軍司令部 陸軍司令部

外二六七
機一日假調印ノ輕便鐵道ニ関スル調書、備信
機一日假調印ノ輕便鐵道ニ関スル調書、備信

MT. 52633

4236

5-0527

0307

秘

電報

陸軍次官官光

外二六

大正四年五月五日

五月三日午後四時三十分發
五月四日午後六時四十五分著

薩哈連洲派遣軍司令官

米島

五

心

川

北ウチノ 振

細目協定其他ノ交換文書ノ大部ハ既ニ今日迄
承リタル中央部ノ御意図ニ基キ努力ヲ其趣
旨ニ合スル如ク交渉シタルカ其結果必スモ悉ク
我カ方ノ主張ヲ先方ニ承認セシムル能ハサリシモ既
ニ撤去ノ期日目前ニ迫リ先方モ之ニ鑑ミ大ニ互
讓妥協ノ實ヲ示シテ成ルヘク速ニ調印スルコトノ
日本側ニ有利ナルヲ説キタルト時日ヲ経過スル
ニ從ヒ先方モ其内部ヨリ種々ノ修正意見加ハリ却
テ我カ方不利ナル地位ニ至シヘテ虞レテアリタルハ最

好キ潮時ト信シ五月一日外二五四ニテ大臣総長
ニ報告セシ通り既ニ調印(一部ハ假調印)ヲ
終リ海軍問題ノ外商若干残リ居ルモヤリ
又先方ハ萬事北京條約特ニ議定書(甲)
第三條ヲ成ル可ク狹義ニ解釈スルヲ原則
トシ唯國內法ニ支障ナキ限リ地方的小問
題ヲ成ル可ク片付タル主義ヲ維持シ居ル
ニ付併セテ兼知アリタシ其他ハ參謀長
ヨリ答フ

MT

52633

4238

MT

52633

4237

5-0527

0308

和

大正十四年五月廿日
三月廿九日午後九時
薩哈噠州派遣軍參謀長

陸軍 二六二 其二
外務 二六一 其二
問題 殘り居り日本
蓄積 日教ヲ要シ一方
早細 細目協定調印
及 假調印シタル文書
通 ナルカ此ノ郵便ヲ
斤 坐礁セルニ就キ目
標 準備中ニシテ其ノ

一 細目協定ハ外二四二號ノ
撤 退ニ先方同意シテ
二 軍隊ニ對スル協定ハ外二四三ノ通り
三 輕鐵ニ對スル協定ハ外二六三ノ通り
四 通商線ニ對スル協定ハ外二四四ノ中第三條
五 令事食次ニ對スル協定ハ外二五〇ニ依リ
六 先方ヨリ受領セル公文ハ外二四五ノ中二六四
七 通り變更セルモノ

二 軍隊ニ對スル協定ハ外二四三ノ通り
三 輕鐵ニ對スル協定ハ外二六三ノ通り
四 通商線ニ對スル協定ハ外二四四ノ中第三條
五 令事食次ニ對スル協定ハ外二五〇ニ依リ
六 先方ヨリ受領セル公文ハ外二四五ノ中二六四
七 通り變更セルモノ

MT

52633

4240

MT

52633

4239

5-0527

0309

公先方ニ送リタル公文ハ外ニ田四ノ二ノ中公有
財産ヲ公共財産トシ幸福ヲ欣幸ニ署名ヲ
司令官ニ改メタルモノナリ

MT

52633

4241

5-0527

0310

(秘)

電報

大正十四年五月五日

五月三日午後五時十分發
五月四日午後十時廿八分著

薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛

外ニ六三

亞港 デルビンスコエ 間 輕便鐵道ニ関スル調書

一 甲ハ乙ニ左ノ財產ヲ無償ニテ引渡ス可シ

(イ) 亞港埠頭ヨリデルビンスコエ間ノ輕便鐵道線路

(ロ) 右ニ附隨セル有線電信電話線

(ハ) 右ニ附隨セル附屬軌道

(ニ) 亞港棧橋上單線軌道(台車ニハツ附ス)

右財產ノ引渡シハ本調書ニ添付スル目錄ニ

依リ實施シ其ノ情況ハ實地ニ檢定ス

二、日本問題ノ主義的方面ハ一九二五年一月二十

日附北京條約ニ依リ解決セラレタルモノヲ支持シ

本財產引渡シニ關聯スル日本軍ノ希望ニハ

之ヲ參考ニ供ス可シ

三、日本軍ニ對シ農民ノ本鐵道敷地使用料

ノ請求ニシテ未解決ノ問題ハ乙ニ於テ

之ヲ調製スヘシ

MT

52633

4243

MT

52633

4242

5-0527

0311

秘電報

大正十四年五月五日

五月三日午後四時三十分著
薩哈連洲派遣軍參謀長

陸軍次官宛

外二六四

前文行政引渡後ニ関シテ日本軍ノ要望

要求希望ノ事トシテ提議セラレタルニ

二第三條第一号但書ヲ削ル

三、四トシテ外二四九ノ一ヲ加フ

四、五トシテ(亞港ニ於ケル電燈會社ノ問題ハ直

接所有者トノ間ニ解決セララルヘシ)ヲ加フ

五、六トシテ外二四五ノ四

六、七トシテ外二五三ノ五

七、八トシテ外二四五ヲ加フ

八、九トシテ外二四五ノ六ノ一正規ノ國籍ヲ自

己ノ國籍ニ改ム

九、十トシテ外二六五ヲ加フ

MT

52633

4245

MT

52633

4244

5-0527

0312

秘

大正十四年五月五日
電報 薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛
北外二六
護哈連在任日本人カ當該三エス五ル官憲
ノ許可ヲ經テ日本人會ヲ設立スル場合ニ於テ該
日本人會ニ對シ今因テ引渡サレタル官有財産ニ
就テ或種ノ權利ヲ賦與セラレ度トノ日本軍ノ
望ニ関シテハ同會設立ノ認可ヲ申請スルニ當リ
不動産使用上必要トスル權利ニ就キ見定テ設
得可キ儀ナルコトハ自明ノ理ト謂フ可シ
(原語 プレドスタツリヤナヤ オチエウイドヌイム)

MT 52633 4246

5-0527

0313

(秘)

電報

大正十四年 五月 五日

五月三日午後五時十分
五月四日午後八時十分
薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛

外二六六

外二六〇ノ續ナ

島田領事ハ命ニ依リ「アボルゲン」ト協議ノ
結果(附記)ヲ削リ別ニ再特別聲明ヲ先
方單獨ニテ附ル事ニ讓歩シ雷地防備隊
司令ハ之レニテ満足セルカ目下海軍者「モ」請
訓中ナル關係モアリ本日ノ調印ヲ明日
延期セリ日本軍ノ撤去切迫セル事情ニ
鑑ミ艦船現在ノ位置及狀態ノ儘受理
ナルユト同意スルト共ニ(七)ハ艦船ヲ浮游

狀態「ア」プラウエンシケエム、ツストヤニ及整備セ
ル形式「イ」スプラフノスチ「ニ」於テ之レヲ引渡スル
必要アリトスル自己ノ見解「ト」チカ、スレト「ニ」ヤ
ヲ引續キ正當ナリト称シ「ス」ケタナク「プラウ」
イリ又「イム」居リ是レ以上ハ政府(單數)ニシテ
即チ勞農ノ事ノ意志「ウ」ヌモトレ「ニ」エ
委ヌ可キ事ヲ聲明スルノ光榮ヲ有ス

MT

52633

4248

MT

52633

4247

5-0527

0314

文書課長 公 信 案
 大正十五年五月五日 謹
 (甲號用紙)

文書課發送
 大正十五年五月六日 發送済
 淨書
 正校(原稿)
 (淨書)

主 任 第一課
 (起草大正十四年五月五日)
 日 附
 附 屬 書 通

機 密 第 三 號 大 正 年 五 月 六 日 附

受信 人名
 大角海軍七友
 津野陸軍七友
 阿部農林七友
 各通

件名 北樺太油田及炭田ニ關スル件
 級 名 込 級
 出 淵 七 友
 和 茂

本件ニ關シ今般在亞港島田領事ヨリ「ホレヴオイ」
 ノ内話トシテ大要左ノ通電報有之候ニ付右及
 (ハタチ)

要再回

御通知候也
 外 務 省

MT 52633 4251

(乙號用紙) 圓納

油田ニ關スル詳細、調査報告書ハ過日莫斯科
 ニ郵送済キ「ツウエ」ロガツイ、其他炭田ノ
 概畧的調査ハ五月五日ヨリ開始シ「用横政
 府」ニ報告ノ答「南」利権會議ハ約二ヶ月
 ヲ以テ足ルルハ八月中ニハ終了スヘキ見込ナリ

MT 52633 4252

外 務 省

5-0527

0316

歐米局英

第一五

北カレン 板兵

秘

電報

大正十四年五月六日

五月五日午後八時十五分

薩哈連洲派遣軍參謀長

陸軍次官宛

外二六八 其一五二

(一)五日正午海軍ニ関スル左ノ議定書ニ調印

ヲ終ル

軍艦及財産授受ニ関スル議定書、日本國政府代表者日平國占領軍司令官(以下甲ト称ス)トソソウイエト社會主義共和國聯邦地区北薩哈連洲受領全權委員會(以下乙ト称ス)トハ軍艦及財産ノ正規ノ授受ヲ行ハント欲シ左ノ如ク規定セリ

一、艦船兵器及諸材料在庫品ノ實地授受ハ目錄ニ依リ現場ニ於テ之ヲ照合シ授受物件ノ状態ヲ記入シテ實施ス
二、右事務ノ實施ハ之ヨリ一方ハ臨時海軍防備隊司令三矢海軍大佐ニ他ハ乙代表アレステンニ委任シ艦船及財産授受ニ関シテハ一般現状ヲ記入スル調書ヲ作製スルコトヲ委嘱ス
三、授受完了後ハ一般調書ヲ作製シ甲及乙之レニ署名ス
四、本議定書ハ乙ニ特別聲明書ヲ添付ス

大正十四年(一九二五年)五月一日亞港市

MT

52633

4254

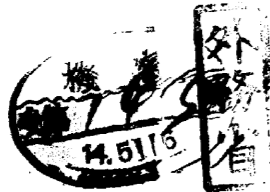
MT

52633

4253

5-0527

0317



要目付

32

秘

歐米第一課

一四、五四

台三一四

港發

臨時海軍防備隊長

海軍大臣

臨時機密第一五三番電

露艦、郵便物ヲ搭載シ三泊、上出港スト

云フ

五月四日

MT

52633

4256

甲署名乙署名ス
 他ノ分ハ頭初ト第三項ト署名ノ所トハ乙
 側ヲ先キニ記ス
 (二)一九二五年五月一日附軍艦及財產授受ニ関スル
 議定書ニ附屬乙、特別聲書
 乙ハ日本軍、北薩哈連撤退ノ時期切迫セル
 ニ鑑ミ艦船及財產ヲ現地現場ニ於テ受
 領スルコトニ同意シタルモ艦船ハ整理ナシ且
 浮游セル状態ニ於テ受領スルヲ必要トスル
 自己ノ從来ノ見解ヲ維持シ其問題將
 来ノ解決ハ政府ノ意見ニ委ヌコトヲ茲ニ聲明
 スルノ光榮ヲ有ス 終リ

MT

52633

4255

5-0527

0318

内務

歐米第一課
拓殖局經由
高級第一一五〇號

大正十四年五月一日

陸海軍省領地課

樺太廳長官昌谷彰

送着
此様之占領地
14.5.5

14.5.5

526
14.5.7

機密
14.5.7

内閣總理大臣子爵加藤高明殿
内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原重直郎殿
各廳庶務長官 殿
朝鮮台灣関東總警務局長 殿
哈爾濱 大久保内務事務官殿

MT

52633

4257

當廳保安課長ヲシテ最近於ケル北樺太ヲ視察

此樺太住民動靜ニ関スル件

セシメタルニ保証占領解除聲明後ニ於ケル現住各
國人ノ動靜大要左記ノ通ニ有之候條此段及申
(通)報候也

記

(一)内地人

在住民ハ昨秋ニ於ケル撤兵説ニカ目威ヲ受ケ去留時
其ノ大部分ハ引揚準備ヲ為セシメ日露交渉ノ
遷延ニヨリ遂ニ實現ヲ見サリシモ本年ハ必ス
實現スルコトナラハト豫想シ以テ未之カ準備ニ餘
念ナカリシ為今更ニ敢テ動搖スルコト
ナキモ引継後ノ勞農政府ノ施政振興全ク安心
レ得サルヘキコト又從來勞農政府カ為セシ苛斂誅
求ヲ恐レ到底此地ニ踏ミ留ルモ將來大ナル望ナシ

MT

52633

4258

5-0527

0319

ト内地及南樺太ニ引揚ケハト之カ善後策ニ腐心
シ現ニ是等ノ活動機関タル日本人會ハ會員四百
八十二名役員助者ノ調印ヲ求メ救済請願書ヲ作成
シ貴冢兩院議長及陸軍外務兩大臣宛提出セ
ル外運動員二名ヲモ上京セシメ之カ貫徹ヲ試シム
トト重港ニ於テハ目下其ノ費用ノ捻出ニ極力奔
走中ナリ然共之等引揚民中重港ニ土地家屋ヲ
有スル者ハ何レモ日露條約ニ對スル細目協定ノ結
果有利ニ展開セハ其ノ狀況ニヨリ再ヒ渡航ノ企
圖ヲ有スル者多數アルカ如シ又一面残留者約三
十戸七十名ハ尼港浦蘆ヨリ移住セシモノ多ク
中ニハ談方面ニ於ケル撤兵ニ際シ殊留ノ經驗ヲ
有スル露語ノ精通者アリ殊ニ撤兵後何何等

4259

52633



不安ナキ^約三ヶ月ニ亘ル長期間ハ彼等ヲシテ種々ノ
策略ヲ弄セシムル好機會ヲ與ヘ即ケ皇軍ト
共ニ引揚ケハトスル邦人ニ對シテハ至リ善セリノ
感アルモ將來北樺太ニ残留シ飽迄北方開墾ノ
實ヲ揚ケハトスル者ニ對シテハ何等ノ顧慮
ヲ拂ハス吾人ハ自己防衛上ヨリ他ニ倚ル如キ
行動ハ断シテ與セサル所ナリトノ理由ノ許ニ残留
民大會ノ開催其ノ他宣傳文ヲ配布シ專心同志ノ
呼合ニ努メ居ルト雖彼等ノ真意ハ實ニ邦人
ヲ引揚者ノ家屋其ノ他殊セシ家財ノ不正處分ニ
ヨリ利得又ハ各種公共團體ノ積立金ノ移管等ヲ
目的トスルモノニシテ結局國交恢復ノ今日ナル
カ故ニ若シ自己ノ豫想ニ及スルモ生命ニハ何等

4260

52633



5-0527

0320

一危険ナカレハク故山ヲ去リテ数年ノ今日裸
一貫ニテ引揚ケルヨリモ^此機會ニ於テ不正手段ヲ
省ニス活動シ一攫千金ヲ得ルニ如カスト度々
居ルト評セラレアリ

(三)露國人

皇軍占領以來軍政治下ニ於テ安定セル生活
ニ恢復シ来リシ舊官吏等ハ昨秋末大部分
撤兵後勞農政府ノ壓迫ヲ憂慮シ南樺太
南米・上海其ノ他ニ移住ヲ希圖シ爲シ得レ
ハ我カ政府ヨリ若干ノ救済金ヲ得テ之カ移住
ノ資ニ充テムト奔走スルモノ及中ニハ其ノ態
度不明ノ者アリ一般住民中資産階級ニ屬ス
ル者ハ旧官吏ト同様勞農政府ノ對岸地方ノ

MT 52633 4261

悪政ニ鑑ミ家財ヲ纏メ既ニ移住ノ準備中ノ
者アリ其ノ他ノ露人モ撤兵後生活ノ不安ヲ
憂慮シ一日モ駐兵ノ長カラレコトヲ希ヒツツ
アリ然ルニ今四撤兵終期ハ五月十五日ナリト
報傳ハルヤ上下ヲ舉ケテ驚愕シ日本ヲ通
過シ他へ渡航ヲ企テ旅券下付ノ出願ヲ爲ス
者數十家族(百十二名出願)ニ及フト云フ之反
シ左傾的分子ハ近ク勞農政治ニ移ルヲ喜ヒ窺
カニ其ノ宣傳ヲ爲シ親日露人ヲ壓迫シツツア
ルヤノ感アリ其ノ適例ヲ舉ケレハ

一勞農政府ヨリノ委任ニヨリ亞濠市内ニ自治會
及青年共産黨ヲ組織シ今日迄親日的態度
ヲ執リシモノニ對シ日本軍撤兵後制裁ヲ加

MT 52633 4262

5-0527

0321

フヘレ

2. 一家族ニシテ一年所要食料以外ハ徴収スヘシ
3. 日本軍撤兵セハ労働者ハ優遇セラレ又ハ土地

ノ解放ヲ受クヘシ

4. 日露交渉成立セル今日敢テ日本人ニ從順ノ意
ヲ表スル必要ナシト街路通行等ニ際シ傲
然タル態度ヲ以テ日本人ニ對スルヲ感セラルル

モノアリ

之ニ依リ穩健ナル有産並ニ智識階級者ハ一層
脅威ヲ感シ續々退島準備ヲ為スニ至ラシ
メ又無産階級者中幾多避難希望ヲ有ス
ルモ旅費ナキ為テ派ヲスルニ同地ニ留マリ受難
ノ立場ヲ待ツト稱スル悲慘ノ者モアリ又引継

委員ノ顔觸ニ就テハ種々ナル人物想像説
行ハレ曩ニ日本渡航ヲ企テタル者モ若シ自己ト
知已關係ノ人物ヲ談テ委員ニ選ハレアラハ親シ
ク面談ヲ解テ得ケル上留島セムトノ意嚮ヲ
有シ既ニ旅行ヲ續終了者ニシテ素思ヲ翻シ
ムトスルモノ多ク教アリ

(三)朝鮮人

直接本土ヨリ渡来セシモノハ少ナク多クハ西伯
利亞ヲ轉々流浪セルモノニシテ帝國臣民タル
モノ僅少ナリ即チ二重國籍無籍露國人民
等ヲ主トシ我カ撤兵ニヨリ何等痛痒ヲ感セサル
カ如キ言ヲ為スモノアルモ事實對岸撤兵後却
テ露國官憲ヨリ压迫セラレタル結果ヲ越知ヤ

MT

52633

4264

MT

52633

4263

5-0527

0322

ルヲ以テ内心悔来ヲ憂慮シツツアリテ大部ハ南洋
太又ハ鮮本土ニ引揚ノ希望ヲ有シ引揚準備又
ハ各種運動ニ就テハ委員ヲ選ビ日本人會ト共
ノ行動ヲ共ニシツツアリ

四支那人

商人中次貨産ヲ有スルモノハ僅々ニ三ニ過キサルモ
彼等ハ勞農政府ノ苛税賦課ヲ怨レ本國ニ引
揚ヲ希望スルモノ多ク目下在庫高品ノ過分ニ
努力ノ其ノ賣却出来サル残貨物ノ送付及之等
ニ要スル船腹ノ斡旋並日本經由本國へ引揚
民ニ對スル取扱等ニ件軍ニ請願スル等極力引
揚ニ對スル善後策ニ付キ腐心シツツアリ
其ノ他多数小店舗ヲ有スルモノ及勞働者等

ハ彼等ノ特有性タル對化員ノ薄利多賣ノ方
法ニヨリ相當ノ蓄財ヲ為シ之又多少引揚希
望者アルモ勞働者ハ勞農政治ニ移ラカ西伯利
亞方面ノ實狀ニ鑑ミ低率ノ勞銀ニ依リ酷使
セラルルヲ以テ居ルモ留島者多ク数アルモノ
如シ

MT

52633

4266

MT

52633

4265

5-0527

0323

附 歐米第一課 五

本普通第一九號

大正拾四年五月二日

在亞港

領事

島田

茲

條約局長

次官

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

北サカシ行政、引渡及占領、終止ニ関スル

細目協定及附屬書送付ノ件

五月一日井上司令官「アポルシ」向「署名」調印ヲ了シタル本件

關係書類（日本文ノ外）不取敢及進達候間御査閱相成度

尤「右」アポルシ「則」日本語通譯キ不足ノ為メ確定シタルモノニハ

無之候間右様御了承相成度將又當日調印シタル「露文」

軍

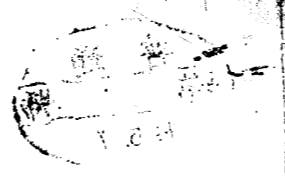
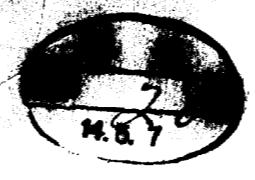
分「有」之候知右「本日」郵便締切迄「書類」作製了了不致不

得止次便「テ」送付「コト」致候間右様御了承相成度候

申進候

敬具

Shoan earlier
before here



MT

52633

4268

MT

52633

4267

5-0527

0324

シ
コ
ロ

大正十四年五月一日 薩哈連州派遣軍司令部

目 録

- 一、北サハレン行政引渡及占領終了ニ関スル細目協定
- 二、軍隊ニ関スル協定
- 三、アレクサンドロウスク、デルビンスコエ間輕便鐵道ニ関スル調書
- 四、通信機關引渡ニ関スル協定
- 五、オハハ、カヤイヴネニ於ケル無線電信所ニ関スル調書
- 六、調書(氣象報交換ニ関スルモノ)
- 七、附屬公文(甲) (善隣的相互關係及經濟的協力ニ関スルモノ)
- 八、附屬公文(乙) (公共的財産ノ使用問題ニ関スルモノ)

コ
ニ
書
類
ハ
シ
コ
ロ
ニ
施
ス
ル
ニ
関
ス
ル
調
書
ニ
関
ス
ル
モノ



52833

4265

5-0527

0325

秘

大正十四年五月一日 薩哈連州派遣軍司令部

北サガレン行政引渡及占領終了ニ関スル細目協定
大正十四年一月二十日即チ十九百二十五年一月二十日北京於
テ署名セラレタル日本國及ソヴェエト社會主義共和
國聯邦間ノ關係ヲ律スル基本的法則ニ関スル議
定書(甲)第三條ニ基キ北サガレン行政引渡及占
領ノ終了ニ関スル細目ヲ協定セムカ爲メ日本國政府
代表者日本國占領軍司令官及ソヴェエト社會主
義共和國聯邦中央執行委員會北サガレン受領
全權委員會ハアレクサンドロウスク市ニ於テ會合シ
左ノ條項ヲ協定セリ

第一條 日本國占領軍司令官ハ左ノ區分ニ依リ日

本國軍隊ヲ撤去シ行政ヲソヴェエト社會主義
共和國聯邦中央執行委員會北サガレン受
領全權委員會ニ引渡スヘシ

(イ) 北緯五十一度十分以北ノ地域ハ四月四日正午迄

(ロ) 北緯五十一度十分以南東經百四十二度三十分

以東ノ地域ハ四月十四日正午迄

(ハ) 其他ノ地域ハ五月十五日正午迄

前項ノ各地域ニ於ケル日本國軍隊ノ撤去ヲ終了シ
行政ヲ引渡シタルトキハ其ノ都度日本國占領軍
司令官及ソヴェエト社會主義共和國聯邦中
央執行委員會北サガレン受領全權委員會

ハ共同シテ之ヲ公表スヘシ

第三條 日本國占領軍司令官ハ行政ヲ引渡ト同時ニ
日本國占領軍カ保管スル日本國占領軍ノ北サ
ガレンレ占領以前ニ関スル公用書類及北サガレンレ占
領中ノ行政ニ関スル日本國占領軍ノ調製セル書
類ヲソヴェイトレ社會主義共和國聯邦中央執行
委員會北サガレンレ受領全權委員會ニ引渡ス
ヘシ

第三條 日本國占領軍司令官ハ行政ヲ引渡ト同時ニ
又ハ之ニ先テ行政ヲ引渡當時ノ所在及狀態ニ於テ
日本國占領軍カ占領當時及占領間收得シタル
北サガレンレニ在ル一切ノ官有及公有財産ヲソヴェイ

イトレ社會主義共和國聯邦中央執行委員會北
サガレンレ受領全權委員會ニ引渡スヘシ
日本國占領軍司令官ハ日本國占領軍カ買収
又ハ建造シタル官有財産ニシテ北サガレンレニ殘置
スルモノヲ前項ト同様ノ條件ニ依リソヴェイトレ社
會主義共和國聯邦中央執行委員會北サガ
レンレ受領全權委員會ニ引渡スヘシ
日本國占領軍司令官ハ北サガレンレニ於テ現ニ
管理者ヲ有セス又ハ所有者判明セス或ハ占領
間日本國占領軍ニ於テ領置シタル爲日本國占
領軍ノ保管スル一切ノ私有財産ヲ前項官有
財産同様ソヴェイトレ社會主義共和國聯邦中

中央執行委員會北サガレン受領全權委員會ニ
引渡スヘシ

第四條 本協定ハ署名ノ日ヨリ完全ニ實施セララルヘシ
但シ本協定ニ本協定署名ノ日ニ先ケ實施スル
コトニ定メタル部分的ノ協定ニシテ既ニ署名ヲ了
シタルモノハ各其ノ特ニ定メタル日時ヨリ完全ニ實
施セララルモノトス

本協定ハ日本文及露文ヲ以テ各ニ通ヲ作成シ
日本國占領軍司令官及ソヴェト社會主義共
和國聯邦中央執行委員會北サガレン受領
全權委員會之ニ署名調印セリ

大正十四年五月一日

千九百二十五年五月一日

日本國政府代表者日本國占領軍司令官井上一次(印)
ソヴェト社會主義共和國聯邦中央執行委員
會北サガレン受領全權委員會

大正十四年五月一日薩哈連州收遣軍司令部

軍隊ニ關スル協定

日本國占領軍ハ本年五月十五日迄ニ北カガレンヨリ撤去シ又四月四日及四月十四日署名ノ調書ニ基キ北部及東部地域ニ四月四日及四月十四日ヨリソウイェト社會主義共和國聯邦ノ權ヲ復興セシムル為茲之ニ伴ヒ北カガレンニ於テ正當ナル秩序ヲ保持スル為ノ手段ヲ講スルノ必要アルヲ以テ左ノ通協定セリ
一、ソウイェト社會主義共和國聯邦ノ軍隊ハ四月十五日アレクサンドロウスク市ニ入市ス
二、一部隊及糧秣廠ヲアレクサンドロウスク市ニ配置ス

- 三、其ノ残りノ部隊ハアレクサンドロウスク市外附近ノ各部落ト四月四日及四月十四日附調書ニ示シタル諸地域トニ宿營ス
- 四、日本國占領軍司令部ハ右ノ軍隊及什貨物ノ揚陸ノ為アレクサンドロウスク河口及軍用棧橋ノ一部ノ使用ヲ特定ニ定ムル計畫書ニ規定シアル期間ニ限り提供ス
- 五、日本國占領軍司令部ハ赤軍本部ト軍隊トノ技術上ノ聯絡ヲ設定スル為諸般ノ便宜ヲ與フ
- 六、ソウイェト社會主義共和國聯邦軍隊先頭部隊ノアレクサンドロウスク入市及日本國軍隊最終部隊ノアレクサンドロウスク出發ニ當リ兩國軍隊ノ敬禮

ノ交換ヲ行フ

大正十四年五月一日

千九百十五年五月一日 アレクサンドロウスク市ニ於テ

日本國政府代表者日本國占領軍司令官井上(次印)

ソウイェト社會主義共和國聯邦中央執行委

員會北ガガレン受領全權委員會

5-0527

0330

秘

大正十四年五月一日薩哈連州派遣軍司令部

アレクサンドロフスク「デルビンスコエ」間輕便鐵道ニ関スル調書

一 日本國占領軍司令官ハ「ソウイェト」社會主義共和國聯邦中央執行委員會北「サガレン」受領全權委員會ニ左ノ財産ヲ無償ニテ引渡スヘシ

(イ)「アレクサンドロフスク」埠頭ヨリ「デルビンスコエ」間輕便鐵道線路

(ロ)右ニ附隨セル有線電信電話線

(ハ)右ニ附隨セル豫備軌道

(ニ)「アレクサンドロフスク」棧橋上單線軌道(台車ニテハヲ附ス)

右財産ノ引渡ハ本調書ニ添付セル目錄ニ依リ實施シ其現狀ハ實地ニ檢定セス

ニ 全權委員會ハ本問題ノ主義的方面ハ千九百二十五年一

月二十日村北京條約ニ依リ解決セラレタルモノト思惟シ本財産引渡ニ關聯スル日本軍ノ希望ハ之ヲ參考ニ供スヘシ

三 日本軍ニ對スル農民ノ本鐵道敷地使用料請求ハニシテ未解決ノ問題ハ全權委員會ニ於テ之ヲ調整スヘシ

千九百二十五年五月一日「アレクサンドロフスク」市ニ於テ

日本國政府代表者日本國占領軍司令官井上一次(印)

ソウイェト社會主義共和國聯邦中央執行委員會

北「サガレン」受領全權委員會

秘

大正十四年五月一日薩哈連州派遣軍司令部

通信機關ノ引渡ニ関スル協定

第一條 日本國占領軍司令官ハソヴイェト社會主義共和國聯邦ヲシテ管理シ所有セシムル爲左記ノ財産ヲソヴイェト社會主義共和國聯邦北サガレン受領全權委員會ニ引渡スヘシ

一、有線電信線及電話線其ノ設備及裝置共

ホギビー―アレクサンドロウスク間

ヌイヴォ―デルビンスコエ間

デルビンスコエ―アレクサンドロウスク間(輕便

鐵道附屬ノ電線ヲ除ク)

デルビンスコエ―國境(オール南方)間

ルイコフ及アレクサンドロウスクニ在ル軍用電話線
説明圖第一第二號ニ依ル

二、無線電信所

アレクサンドロウスク南部ニ在リ五キロワットノ無

線電信所トス

三、引渡サルヘキ財産ノ性質及數量

第一項及第二項所載ノ官有財産ハ本協定ニ添付シアル目錄ヲ以テ示シ之ヲ左ノ二種類ニ分類ス

(イ) 占領當時迄存在セル財産

(ロ) 日本國占領軍ノ建造シタル財産

備考 電信線及電話線ノ引渡ニ方リ其ノ状態ヲ實地ニ檢定セス

第二條 引渡ノ時期左ノ如シ

(1) 四月四日及四月十四日附調書所載ノ地域ニ存在スル前條第一項所載ノ財産ハ該地域ノ行政引渡ニ関スル調書ニ署名スルト共ニ引渡サレタルモノト看做ス

(2) 其ノ他ノ地域ニ存在スル前條第一第二項所載ノ財産ハ五月十五日正午迄ニ引渡サルモノトス

第三條 ソヴィエト社会主義共和国聯邦北サガレン受領全權委員會ハ北サガレンニ於ケル日本國領事館開設ノ場合ニ之ヲ爲ス日本企業團及私人

ノ爲メ聯絡ノ必要ナルヲ思ヒソヴィエト社会主義共和国聯邦法規所定ノ原則ニ基キ之等ニ對シ前記通信機關ノ使用權ヲ付與ス本項ハ別ニ有線及無線電信ニ関スル般若暫定協定締結迄有効ナルヘシ

全權委員會ト既ニ引渡ヲ了セル地域(四月四日及四月十四日附調書所載ノ)トノ連絡ヲ保障スル爲メ日本國占領軍司令部ハアレクサンドロウスクレ市ニ於テ必要ナル家屋ヲ供給シ電信裝置ヲ引渡シ之ヲ本協定第一條第項所載ノ諸線ニ設置スルコトニ對シ便宜ヲ與フヘシ
全權委員會ハ日本國軍隊ノ撤去ヲ援助スル目

的ヲ以テ五月十五日迄日本國占領軍司令部ニ對シ
日本國領樺太ト、連絡ノ爲「ルイコフスコエ」ヲ經由ス
ル有線電信線ニ依ル「アレクサンドロウスク」豊原間、
直接通信ヲ認容スヘシ

大正十四年五月一日

九百二十五年五月一日

アレクサンドロウスク市ニ於テ

日本國政府代表者日本國占領軍司令官井上一次(印)
ソヴィエト社會主義共和國聯邦中央執行委員
會北ガレン受領全權委員會

秘

大正十四年五月一日薩哈連州派遣軍司令部

オハ及「チヤイヴオ」ニ於ケル無線電信所ニ關スル調書

オハ及「チヤイヴオ」無線電信所ハ千九百二十五年一月二十日北京ニ於テ芳澤「カラハン」両氏ノ間ニ交換セラレタル公文第四項ニ基キ解決セラルヘキモノトス此等無線電信所ハ本問題カ同公文ニ基キ「ソグイエ」社會主義共和國聯邦政府ニテ調整セラルル迄ノ間ハ「ソグイエ」社會主義共和國聯邦ノ官憲代表者ノ監督ノ下ニ從來ノ通リ運用ラ繼續スルモノトス

大正十四年五月一日

千九百二十五年五月一日

「アレクサンドロウスク」市ニ於テ

日本國政府代表者日本國占領軍司令官

「ソグイエ」社會主義共和國聯邦中央執行委員會北「マガレン」受領全權委員會

秘

大正十四年五月一日薩管連州派遣軍司令部

調書

日本國政府代表者日本國占領軍司令官及「ソグイェト」社會主義共和國聯邦中央執行委員會北「サガレン」受領全權委員會ハ學術上ノ聯絡ヲ保テ且航海ニ資セムトスル目的ヲ以テ北「サガレン」ノ觀測所ト之ニ近キ日本國ノ觀測所トノ間ニ氣象報ヲ交換スル問題ヲ速ニ解決スヘキ一切ノ手段ヲ講セムトスル相互ノ希望ヲ表明ス

大正十四年五月一日

千九百二十五年五月一日

アレクサンドロウスク市ニ於テ

日本國政府代表者日本國占領軍司令官 井上一次(印)

「ソグイェト」社會主義共和國聯邦中央執行委員會
北「サガレン」受領全權委員會

秘

大正十四年五月一日 薩哈連州派遣軍司令部

附屬公文

(來翰受領、上述正確ナル翻譯ヲ為スヘシ)

以書翰啓上致候陳者北「サカレン」行政ノ引渡及占領ノ終了ニ關スル細目協定ニ本日署名スルニ方リ「ソグイェト」社會主義共和國聯邦中央執行委員會北「サカレン」受領全權委員會ハ「ソグイェト」社會主義共和國聯邦及日本國間就中北「サカレン」ニ於ケル善隣的相互關係及經濟的協力ヲ鞏固ナラシムカ爲日本軍ヨリ要望トシテ提起セラレタル諸問題ニ關シ左ノ通聲明スルノ光榮ヲ有シ候

一、北「サカレン」ニ於テ日本林業者ノ伐採シタル木材七百「クローブ」ノ輸出ハ林業者カ正規ノ請願ヲナシ且切株稅及手数料ヲ支拂フ條件ノ下ニ許可セラルヘシ

二、「イルキール」牧場ニ付テハ全權委員會ハ三菱合資會社ニ於テ正規ノ請願ヲ爲シ一箇年間ニ對スル租借契約ヲ締結スルノ條件ノ下ニ三菱合資會社カ前記牧場ヲ使用スルコトノ希望ニ添フヘシ

三、日本國占領軍ニ於テ日本人ニ對シ住宅倉庫ノ建築其ノ他物置等ヲ設ケル爲貸下ケタル土地ノ使用ニ關シテ全權委員會ハ本問題攻究ノ爲ニハ各個ノ場合ニ付詳細ナル書類ヲ必要トスヘク該書類ヲ調査シタル後各個ノ問題ノ本質ニ關シ意見ヲ決定スルヲ得ヘシト思考ス
全權委員會ハ必要ノ場合ニ於テ各種問題攻究ノ爲日本國ノ公證簿ヲ利用セラレタキ日本國占領軍ノ希望ヲ承引ス

四、アレクサンドロウスク市「ドウエ」ロガトウイ間ノ電話ハ北シ炭
礦企業ノ必要ヲ充ス為一時使用セシメタシトスル日本軍ノ
要望ニ應スヘク使用方法及條件ハ追テ直接三菱合資
會社トノ間ニ定メラルヘシ

五、アレクサンドロウスク市ニ於タル電燈會社ノ問題ハ直接所有
者トノ間ニ解決セラルヘシ

六、全權委員會ハ附表ニ記載セラレタル二十三ヶ所ノ漁區及
製魚區ノ内「アレクサンドロウスク」市以南西海岸ニ於タル鯧
及鱒ノ五漁區ニ付テハ「鍊」ノ漁期切迫シタルニ顧ミ例外トシテ「ア
レクサンドロウスク」市ニ於テ貸下競賣ヲ行フヘシ
其ノ以外ノモノ及右ノ鯧鱒五漁區競落セサル場合ハセテ加ヘ
タルモノニ付テハ全權委員會ハ成規ノ手續ニ依リ速ニ「ハロラス」

クニ於テ貸下競賣ヲ行フコトニ對シ助力スヘシ

七、日本軍ニ於テ貸下タムト豫定シアリタル右以外漁區製魚區
ニ關シテハ全權委員會ハ右ノ内「ソグイエト」社會主義共和
國聯邦政府ニ於テ貸下ニ付スヘキモノト認メタルモノニ付正規ノ手
續ニ依リ「ハロラス」市ニ於テ之カ貸下競賣ヲ行フヘキコト
ヲ茲ニ通告ス

八、日本領樺太ヨリ木材流送ノ為「ヒリウオ」河竝其沿岸ノ土地ヲ
使用スル件ニ付テハ全權委員會ハ「ソグイエト」社會主義共和國
聯邦政府日本國政府間ノ審議及決定ニ俟ツヘキ問題ナリ
ト思惟ス

右ト同時ニ北緯五十度國境ノ出入ニ關シテ與ヘラルヘキ免除
ハ「ヒリウオ」河木材流送ニ關スル兩國政府間ノ特別協定ニ依

リ規定セラルヘシ

九、北緯五十度國境附近ニ於ケル土民ニ関スル問題ニ付テハ全權
委員會ハ鞏固ナル政權並國境警備ノ確立ト共ニ自己ノ國
籍ヲ確定シ居ラサル者ノ國籍問題ハ自然ニ解決セラルヘキモ
ノナリト思惟ス

十、北「サカレン」在住日本人カ當該「ソグイェト」社會主義共和國聯
邦官憲ノ許可ヲ經テ日本人會ヲ設立スル場合ニ於テ該日
本人會ニ對シ今回ノ引渡官有財産ニ付或種ノ權利ヲ付與スヘ
シトノ日本軍ノ要望ニ関シテハ同會設立ノ認可ヲ申請スル
ニ當リ同會ニ於テ不動産使用上必要トスル權利ニ付規定
ヲ設テ得ヘキ儀ナルコトハ自明ノ理ナリト謂フヘシ
本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

千九百二十五年五月一日

アレクサンドロウスク市ニ於テ

「ソグイェト」社會主義共和國聯邦中央執行委員會

北「サカレン」受領全權委員會長 ウエ、アホルケン

日本國政府代表者日本國占領軍司令官井上一次閣下

大正十四年五月一日 薩摩州滋道軍司令部

(附屬公文)

以書翰啓上致候 陳者日本側ヨリ提起シタル公共的財產使用問題ニ關聯シ本官ハソウイェト社會主義共和國聯邦政府カ其ノ現行法令ニ基キ民族ノ如何ヲ問ハス常ニ住民ノ福祉増進ヲ念トシ居ル旨ノソウイェト社會主義共和國聯邦中央執行委員會北カガレニ受領全權委員會代表者ノ聲明ヲ満足ヲ以テ確認シ此旨北カガレニ在留日本人ニ公示スルヲ欣幸トス本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

千九百二十五年五月一日

アレクサンドロウスタ市ニ於テ

井 上 一 次

ソウイェト社會主義共和國聯邦中央執行委員會北カガレニ受領全權委員會長ツネボクニ閣下

14. 5. 1

要目付

外務省

三

秘

歐米第一課

海軍大臣
軍令部長

臨時海軍防備隊司令

防機密第一五四番電
本日海軍關係、調印無事終了
舊隊明日以後天候次第撤退ス

前右
七
七
七
七
港
着

MT

52633

4269

5-0527

0341

MT

52633

4270

(秘)

電報

大正十四年五月八日 署名 公署

五月七日午後三時四十分

陸軍次官先 陸哈達州派遣軍參謀長

外二六九 其一、二、

西一、四送

一、陸軍中將井上一次ヲ謝リテ
 二、先チ行政ノ各々ニ改ムルハ
 既ニ調印済ニシテ此ノ上交渉又ルハ事態
 紛糾ニシテ先方ヨリ他ノ修正意見出テ折
 角出来上リタル假定ヲ或ハ我方ニ不利ナル様
 改メタルヲ得ルニ至ルモ測リ難ク故不可能
 ナリ又一ニシテ現存又先ノ加フルコトハ北産
 哈達ニ在ルガ現在ノ動向ナレハ必要ナルヘシ

又別ニ財産目錄調書ヲ交換スレ事ニナレハ改
 ムル必要ナルヘシ

三、日本語ノ通信文ヲ受付ケレムル件ハ當地ニテ
 交渉スレモ先方ハ飽ク迄一般若ノ特別協
 定締結迄国内法ノ適用ヲ主張シ其目的
 フ達スルノ見込ナク又此種ノ事ハ三月三十一日
 西六一ノ範圍外ナリ尚四月五日ハ電文ノ誤
 トス

× 四、領事館建物ハ莫斯科科ヨリ訓電到着セ
 サレハ公文書ノ交換困難ナリ
 五、ハ電文不明ノ臭アルモ従来極力交渉ノ結
 果此ノ程度迄達シタルモノニシテ今日更ニ交
 渉スルモ徒ラニ問題ヲ多クシテ結果ナカル

MT

52633

4271

5-0527

0342

五月八日 香台

五月七日 三時四十分
五月八日 三時五十分
薩哈連州派遣軍參謀長

英二二

情事上ハ次ノ如クナリ

次ノ行政ヲ各々改ムルトハ
シテ先方ヨリ他ノ修正意見出テ折
一ツル候定メ或ハ我方ニ不利ナル様
情事上ハ此ノ如クナリ故不可能
シテ現存スルモノヲ加フルトハ北薩
ハ現在ノ如クナリ必要ナルヘシ

左日録調書ヲ交換スレ事ナレハ改

通信文ヲ受付ケシムル件ハ當地ニテ
先方ハ飽ク述一般若ノ特別協
定國內法ノ適用ヲ主張シ其目的
見込ナク又此種ノ事ハ三月三十一日
範圍外ナリ尚四月十一日ハ電文ノ誤

支物ハ莫斯科ヨリ訓電到着セ
ハ書ノ交換困難ナリ
明ノ矣アルニ從來極力交渉ノ結
度迄達シタルモノニシテ今日更ニ交
換ノ問題ヲ多クシテ結果ナカル

MT 52633 4271

申言見事ニ取及
岡子淳

5-0527

0343

○シ又「ニシテ」加「ルト」ハ元来先方ヨリノ素
 翰ニシテ露國文ナレハ修正スルノ必要ナカレシ
 六、五月三日外ニ六一後段ノ如ク國際的ノモノナ
 レハ此レ以上ヲ現在ノ全權委員會ニ要求
 スルコト不可能ナリ
 七、概ネ「ニ」同レ
 八、三「エ」ス「エル」政府カ本問題ヲ調整セルハ元
 ヲリ同公文ニ示ス将来ノ協定ニ基クノ意
 味ニナリアリ

MT

52633

4272

5-0527

0344

(秘)

大正十四年五月八日
電報 四月七日午後三時四十分發
陸軍次官宛 薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛 薩哈連州派遣軍參謀長

一、北薩哈連、富原開發、目的ニ利用スルコト

二、若シ賣却スルトキハ邦人ニ優先權ヲ與ハラレ度コト

三、地上權未解決ノコトヲ述ハタルニ對シ先方面答

日本會ノ不動態ノ件ハ交渉ノ當初ヨリ連續

此以上ノ取極ヲ交渉スルモ恐ラク十五日迄ニ解

決セサルノシカ却テ先方ヲ刺戟シ他方面ニ於テ

先方ヨリ我方ニ不利ナル事抗辱求ヲ受ケル

恐レ多キ情況ニ在リ

MT

52633

4274

MT

52633

4275

5-0527

0345

秘

次長同文

大正十四年五月八日

午後三時四十分發

陸軍次官宛

薩哈連州派遣軍參謀長

外ニ七一
アホルチンカ島田領事ニ語ル處ニ依ルニ今田
ノ交渉文ヲ全部發表スルヤ否ヤハ政府ノ決
定スル處ナルカ
然リトテ之ヲ發表スル程ノ必要モ無キト

MT

52633

4275

秘

陸軍次官宛

薩哈連州派遣軍參謀長

大正十四年五月八日

午後三時四十分發

外ニ七一
電燈會社ハ六万五千圓ニテ露國側ニ賣却
ノ内協議成リ本日契約書類ヲ作り近ク調
印スト

MT

52633

4276

5-0527

0346

要再回

文書課長		大正十四年五月九日	
文書課發送		大正十四年五月九日發送済	
主 管	主 任	起 草	大正十四年五月九日
機密第 六九	號	大正	年 五月 九日 附
受 信 人 名	發 信 人 名	名 込 總	
海軍省 小林軍務局長	廣田陸軍局長	北条	
件名 在北様太引渡艦船之件			
本件ニ付 本日官所軍務一様密弁ニ四四号書信			
ヲ以テ 予之例ニ於テ 委任艦船ニ付 特別声申書			
ヲ發スルニ付 同意ニ表支ナキ事 臨時海軍防備司令部			

MT

52633 4278

要再回

文書課長		大正十四年五月九日	
文書課發送		大正十四年五月九日發送済	
主 管	主 任	起 草	大正十四年五月九日
機密第 二九	號	大正	年 五月 九日 附
受 信 人 名	發 信 人 名	名 込 總	
陸軍省 如軍務局長	廣田陸軍局長	北条	
件名 在北様太引渡艦船之件			
本件ニ付 今般海軍省 小林軍務局長ニ付 別紙字ノ			
通中送置候事仰在冬 后 左ノ石及御返取			
候也 (別紙海軍省 軍務局長宛付字 係付ノ)			

MT

52633 4277

5-0527

0347



乙 號用紙 (圖納)

ニ付テ 電報加納リ先 越御通報ニ接シ候事 先
 於テ 特ニ 左ノ如キ 聲明書ヲ 發スル 結果
 外方ニ 於テ 後日 先方ヨリ 損害賠償ノ 要求ニ 應ス
 ノ 意向ナキ 限り 此際 外方ニ 於テモ 右先方 聲明書
 ニ 付シ 外方 往來ノ 主張ヲ 明ニセシ 適宜 聲明ヲ 爲シ
 スノ 必要 ナキ ことナリ 此ノ 旨ニ 同意ス 外方 往來ノ 再行
 承知 以テ 及ヒ 何ノ 義行 亦 加納 度 此 故 申 述

外務省

MT 52633 4279

乙 號用紙 (圖納)

ト也

外務省

MT 52633 4280

5-0527

0348

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

陸軍省

第一課

細目協定之件

西

電報(暫免)

左ノ件島田領事ト先方トノ私的會見

等ノ如キ方法ニテ交渉セラレタシ

一領事館問題ハ目下外務側ヨリ莫斯

科ニ交渉シツツアルヲ以テ領事館ノ

建物ニ就テハ四ノ四ノ通取極ムルコト

ニ「オハ」チヤイオレノ無線問題ハ外二五〇

ノ文書ニテハ協定ノ上調整セラルルコトト

ナリアラサルヲ以テ西一〇四ノ通取極ムルコト

尚協定文等ノ發表ニ就テハ尙方ニテモ

研究中ニ付含ミ置カレタシ

MT.

52633

4282

MT.

52633

4281

5-0527

0349

寫

西一〇六號

細目協定等ニ關スル件

大正十四年五月九日 陸軍次官

陸軍陸軍部陸軍次官宛電報(略)

左ノ件島田領事ト先方トノ私的會見等

ノ如キ方法ニテ交渉セラレタシ

一、領事館問題ハ目下外務側ヨリ莫斯科

ニ交渉ニツツアルヲ以テ領事館ノ建

物ニ就テハ西一〇四ノ通取極ムルコト

ニオハシテヤイオノ無線問題ハ外ニ五〇ノ

文書ニテハ協定ノ上調整セラレルコトト

ナリアラサルヲ以テ西一〇四ノ通取極ムル

コト

尚協定文等ノ發表ニ就テハ當方ニ

テ研究中ニ付含之置カレタシ

MT.

52633

4284

MT.

52633

4283

5-0527

0350

訓書

日本軍司令部及全機參謀長、軍艦隊司令
及林料備品部、各、技術的、組織上、且
行動上、引揚、行進、被命令、進出、
一、艦艇、兵器、及材料、司令部、引揚、日録、
現況、之、決定、且、引揚、物、件、材、質、明、
之、宣、行、之、事。
一、次、事、務、司、引揚、一、方、全、機、参、謀、長、代、表、者、三、カ、
、ト、シ、他、方、事、務、司、引揚、日録、三、カ、不、他、多、ク、艦
艇、及、材、料、部、引揚、日録、同、現、況、日録、確、定、之、統、調、書
作成、之、之、事、也。

陸軍

二、引揚、空、行、後、返、日録、作成、全機參謀長、軍、

司令部、之、署名、

四、事、務、司、引揚、日録、日録、全機參謀長、引揚、日録、
作成、之、如、シ、完全、之、形、備、品、材、料、及、浮、揚、物、部、
、ト、艦、艇、部、引揚、日録、又、一、方、全機參謀長、引揚、日録、
如、現、況、日録、作成、之、引揚、日録、同、
、ト、西、部、事、務、司、引揚、日録、之、引揚、日録、之、事、也。

MT.

52633

4291

MT.

52633

4290

5-0527

0354

五月五日 島岡、平林、今野、
 四月五日、島岡、平林、今野、
 一、海軍艦艇一件
 島岡、平林、今野、
 二、海軍艦艇一件
 島岡、平林、今野、
 三、海軍艦艇一件
 島岡、平林、今野、
 四、海軍艦艇一件
 島岡、平林、今野、

MT.

52633

4293

MT.

52633

4292

5-0527

0355

一九三五年五月 陸軍部 訓令
同部訓令 附書 附表

ソノ旨トシテ 陸軍部 訓令 附書 附表
會令 陸軍部 訓令 附書 附表

日本軍隊 撤退 同部 訓令 附書 附表
事實上 現況 陸軍部 訓令 附書 附表
同部 訓令 附書 附表
執行 會令 陸軍部 訓令 附書 附表
陸軍部 訓令 附書 附表

了りて 自己 見解 正當ナル 思考 以上ハ 政
府ノ 意見ニ 依リテ 下ノ 聲明 尤 重要 ナル 有ス

MT. 52633 4296

MT. 52633 4295

5-0527

0357

五月一日 島田、フレネ、エミワキ、令破

五月三日 松岡、多、新本、後、古、諸氏、
 小、夫人、茶、振、上、
 同、得、
 一、イ、ス、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、

MT.

52633

4296

MT.

52633

4297

5-0527

0358

急

五三 勞農軍船入港

五月四日午後四時、東京海軍工廠より、
現十時、電報ヲ以テ、本館ニ、領事官ハ、
海軍省ニ、電報ヲ以テ、本館ニ、領事官ハ、
海軍省ニ、電報ヲ以テ、本館ニ、領事官ハ、
海軍省ニ、電報ヲ以テ、本館ニ、領事官ハ、
海軍省ニ、電報ヲ以テ、本館ニ、領事官ハ、

一、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

二、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

三、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

四、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

五、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

六、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

陸軍

七、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

八、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

九、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

十、軍艦「クラスノイ」(海軍省、東京)入港

MT.

52633 4300

MT.

52633 4299

5-0527

0359

五三、 輕鉄、通候、兩期書、御作、
アサカホヒツス、テハヒツス、同、輕鉄、通、引、
御書、及、兩、信、様、同、引、落、同、之、御書、二、通、ハ、
原書、未、定、多、ク、イ、テ、多、ク、施、ス、ト、思、フ、事、
五月、留、方、係、了、ル、事、ハ、以、テ、五月、留、方、係、了、
軍、司、令、在、任、御、於、テ、是、ル、カ、ハ、知、ヒ、氏、御、書、上、
迄、録、本、通、候、旨、御、并、年、録、山、口、中、侍、等、之、御、書、
御、作、也、其、中、御、并、年、録、共、ニ、ア、ホ、ン、ケ、レ、テ、下、
テ、ア、ホ、ン、ケ、レ、テ、下、テ、ク、マ、ス、ニ、テ、カ、レ、テ、
御、書、ヲ、御、作、候、事、ハ、二、御、書、之、定、金、ト、ナ、リ、

陸軍

MT. 52633 4301

5-0527

0360

五月 自由田、アホハシ、今見
 五月 曾年 亿 三 分 多 有、アホハシ、能 弱 じ 海 軍
 協 定、同 じ、アホハシ、隊 属 せ ば、オ 足 々 特 別 声
 明、ハ 日 本 海 軍、お 大 伴 之、高 々、オ 足 々、オ 足 々
 ハ 同 時、是 日 米 海 軍、カ ン ン 氏、埋 古 じ、オ 足 々、
 知 引 換 調 査 隊 員、カ ン ン 氏、第 一 号、同 じ 声
 明、ハ 日 本 海 軍 協 定、引 換 調 査 隊 員、治 標 三
 三 個 不 足、七 十 個、編 制 之 数、オ 足 々、同 じ 声 明
 ハ 引 換 調 査 隊 員、強 硬、オ 足 々、同 じ 声 明、オ 足 々、
 ハ 同 時、オ 足 々、海 軍 協 定、解 決、オ 足 々、
 ハ 協 定、同 じ、五月 日、海 軍 協 定、オ 足 々、
 之、行、オ 足 々、

陸 軍

MT

52633

4303

MT

52633

4302

5-0527

0361

五五、海軍艦艇引揚協定、調印。
 五月五日午井上軍司令官及島本大佐が、
 「アハムヤシ」「コシリヤエウ」「カラスニラフ」「ホーロキシ」「フリス
 ケシ」「カウタシ」「古氏、島本大佐、井上中隊、佐藤大佐、
 長（三ノ口少将トト）三矢司令、島本大佐、佐藤大佐、
 磯谷、山口中佐、ノ吉人、司令官、海軍艦艇、及
 財表引揚之同意、調印、行、但、但、但、
 五月五日付、外、現、引揚、調印、
 云々、
 五月五日、島本大佐、海軍防備隊、
 五月五日、島本大佐、海軍防備隊、
 五月五日、島本大佐、海軍防備隊、

陸軍

MT 52633 4304

5-0527

0362

MT

52633

4396

Handwritten numbers and marks in the top right corner.

ПРОТОКОЛ

о передаче военных судов и имущества.

Уполномоченный Японского Правительства Командующий Японской Окупационной Армией и Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по приему Северного Сахалина, озабочиваясь о правильной передаче военных судов и имущества, согласились о нижеследующем:

1. Осуществить фактическую передачу судов, боевых и материальных запасов по описям, с проверкой их на месте и отметкой о состоянии передаваемых предметов.

2. Выполнение этой работы поручить Начальнику Японского Отряда Морской Охраны Капитану I-го ранга Мицунэ с одной стороны и Представителю Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по приему Северного Сахалина Престину с другой стороны, предложив им о передаче судов и имущества составить акты, фиксирующие общее их состояние.

3. По выполнении передачи составить общий акт, подписываемый Уполномоченным Японского Правительства Командующим Японской Окупационной Армией и Полномочной Комиссией.

4. К протоколу прилагается особое заявление Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по приему Северного Сахалина.

14 / " Мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.
г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Окупационной
Армией:

Полномочная Комиссия Центрального
Исполнительного Комитета Союза
Советских Социалистических Респуб-
лик по приему Северного Сахалина:

Handwritten signature and stamp on the left side.

Handwritten signatures: А. Болотин, М. И. Шиников, Красников, Бонин.

MT

52633

4305

И Протоколу о передаче военных судов и имущества от 7 мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо

Особое заявление Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина.

Согласившись, в виду приближения срока эвакуации японских войск с Северного Сахалина, на фактический прием судов и морского имущества в их настоящем положении и состоянии, Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик ~~имеет честь заявить, что, продолжая оставаться на своей прежней точке зрения о необходимости передачи и принятия судов в плавающем состоянии и исправности,~~ дальнейшее разрешение вопроса предоставляет на усмотрение Правительства.-

Полномочная Комиссия
Центрального Исполнительного Комитета
С О Ю З А

Советских Социалистических Республик
по принятию Северного
Са х а л и н а:

А.В.Михайлов

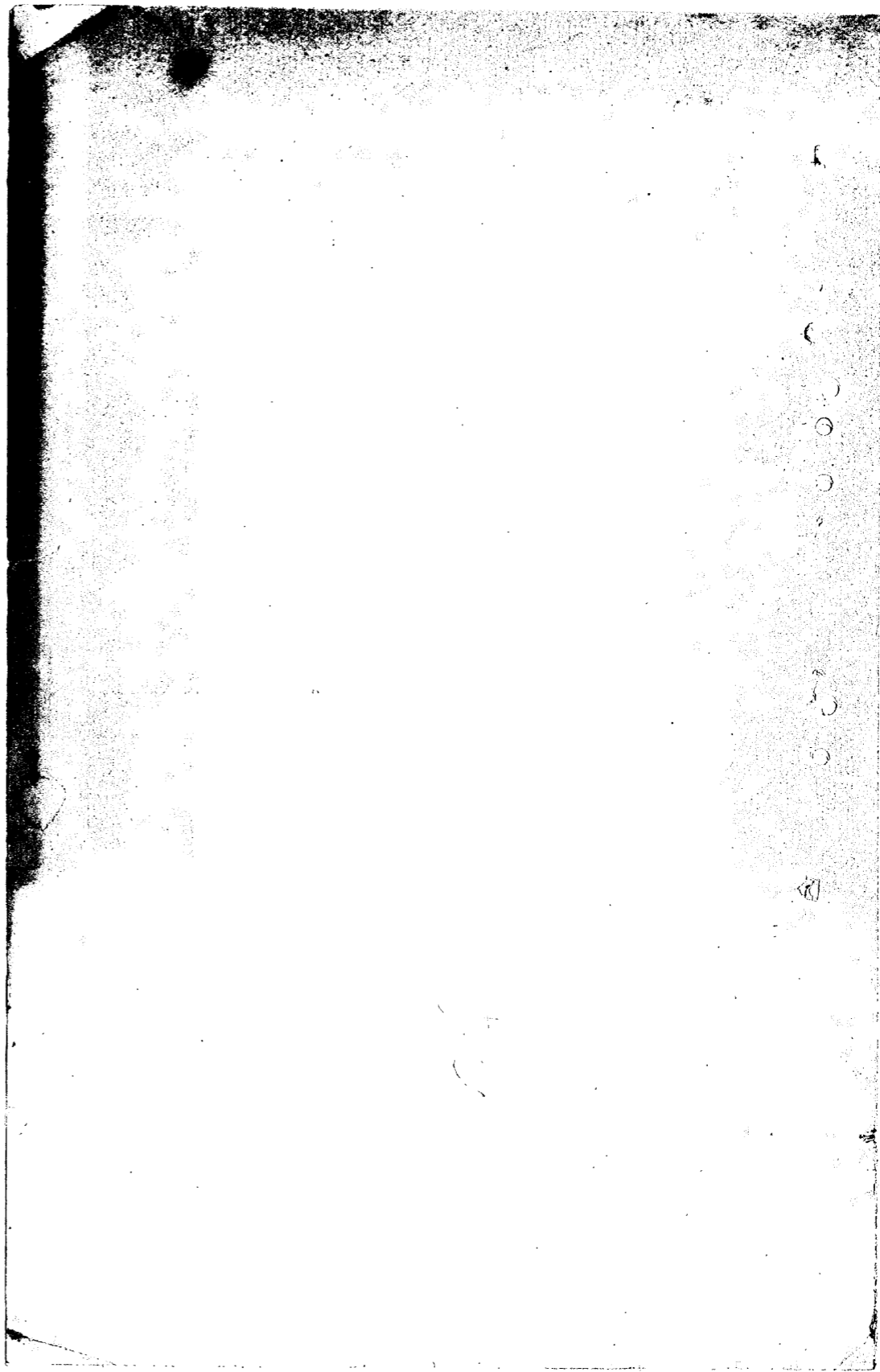
М.И.Краснов

Краснов

Бонин

5-0527

0364



5-0527

0365

手紙
了

陸軍次官宛
外二七四
當地勞農電信局ハ五月十五日ヨリ一九
四年ノ協定ニ從ヒ南樺太ト電信送
付ヲ開始スル由
大正十四年五月十二日
五月十日午後八時五分著
薩哈連州派遣軍參謀長

MT. 52633 4308

5-0527

0366

歐米局長

三

歐米局長

秘 電報

大正十四年五月十二日

大正十四年五月十一日

五月十日午後九時四十分著
薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛
外二七三
外二七二續キ
電燈會社ハ六万五千八百圓ニテ露國側ニ
賣却スル事ニ決定シ昨日代表西谷
健三ト露國代表シニリヤンニコフトノ
間ニ契約書ヲ調印ヲ終ル

MT. 52633 4307

(秘)

電報

大正十四年五月十二日

五月十二日午後九時五十分
薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛

外ニ七五
西一。六、二、就十島田領事カ本日エウ

エツキ一。アボルチンニ養狐場見學ノ

爲不在ニ面會シテ確メタル處勞農政

府カ隨意ニ調整スルニ非ス必ス日本側ト

協議シテ定ム可キト勿論ニシテ何レ在東

京コツプロ大使ヨリ協議ヲ持出スヘシト

MT

52633

4309

5-0527

0367

次長同文

大正十四年五月十二日

電報

五月十一日午後二時三十分終
薩哈喇州派遣軍參謀長

陸軍次官宛

薩參三一六

一日ヨリ風強ク荷役困難ナルモ極力豫定ノ如ク

荷役ヲナシツアリ

二天候ノ為メ大ナル障害ヲ受ケサレハ十四日午前七

時半軍司令部屋上ノ國旗ヲ撤去シ午前八時

日本橋附近於テ兩國軍隊間ニ敬禮ヲ交

換シ埠頭運輸部事務所於テ兩國代表者

間ニ五月十九日迄ニ自領ヲ解除シ行政ヲ度ス

為メ週書ト布告トニ署名ヲ交換シ概ネ午前

十時頃司令部小棧橋ヨリ小蒸汽ニ移リ

三、正午亞港發豫定
同日没迄ニ北緯五十度以南ニ移リテ我艦隊
隊ト別レ十六日午前中ニ小棧ニ着ク豫定

MT

52633

4311

MT

52633

4310

5-0527

0368

秘

電報

大正十四年五月十二日

五月十日午後三時四十分著
薩哈連州派遣軍參謀長

陸軍次官宛
薩參謀ニ

九日司令官ハ勞農官憲及在苗セントスル
日本有力者ヲ晚餐ニ招待シタルカ、アホル
チニシテ、クラヌニコワレハ、若シ日本カ南樺
太ニアル軍隊ヲモ内地ニ返還セシムルナラハ
我方モ北樺太ニ民警ノミヲ配置スルコト
トシタリ。意圖ヲ及マカレ、兩政府間ニ交
渉ヲ行ヒ度旨ヲ述ヘタリ

MT 52633 4312

5-0527

0369

大正十四年五月十二日

電報 五月十二日午前十三時三十分發
薩哈喇州派遣軍參謀長

陸軍次官宛 陸軍省
外二七七(外二七四續キ)
本日勞農側ヨリ左ノ要旨ノ公文ヲ受領ス

一日本側ニ異存ナキ限リ左ノ方法ニテ行フ
二豊原經由有線ニ依ル但シ障害ノ場合ニハ亞
三卷ト大陸トノ交信ニ妨ナキ時ニ限リ亞
四無線ト最寄日本無線電信局(複教)トノ間
ニ交信シ

三通信事務ハ終日施行ス
四交付及系信ハ英譯トス
五料金ハ一九一四年五月一日附ノ協定ニ依ル

六毎月、決済ハ翌月二十日迄ニ行フ
七、以上一般他國ノ特別協定ニ依ル
七、以上一般他國ノ特別協定ニ依ル
七、以上一般他國ノ特別協定ニ依ル

MT 52633 4314

MT 52633 4313

5-0527

0370

普通
14. 5. 13

門
類
項
號
5
2
6

本普通第百号

大正十四年五月三日

在亞港

領事

島田

滋

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

占領終了行政引渡の關に露文細目協定其他

本件關於紙角及進運品問御査収相成候様

申進候

本露文書類ハ全部莫斯科ニ送還ス

敬具

同一内容ノ英文ハ獨白位百表位本署迄守二一号ニ添付セシム

在外公館

歐米第一

薩哈連島北極

MT

52633

4315

5-0527

0371

существо каждого вопроса. Полномочная Комиссия принимает к сведению желание Японского Командования о пользовании для изучения вопросов в случае необходимости и японскими нотариальными реестрами.

4. Полномочная Комиссия готова пойти на встречу пожеланию Японского Командования о временном пользовании фирмой Мицубиси телефоном между Александровским-Дуе-Рогатым для надобностей каменноугольных предприятий. Порядок пользования и условия будут дополнительно выработаны непосредственно с представителем фирмы Мицубиси.

5. Вопрос об электрической станции в г. Александровске разрешается непосредственно с владельцами станции. (五月九日解決済)

6. Из указанных в приложении №1 23-х рыболовных и засольных участков Полномочная Комиссия признает возможным в виде исключения, принимая во внимание приближение срока хода сельди, назначить в г. Александровске торги на сдачу 5 участков сельди и горбуши, находящихся к югу от Александровска. Что же касается остальных участков включая сюда и 5 рыболовных ^{участков} сельди и горбуши в случае, если таковые участки не будут заторгованы, то Полномочная Комиссия готова оказать содействие скорейшему назначению в г. Хабаровске в установленном порядке торгов на них.

7. Относительно остальных запроектированных рыболовных и засольных участков, предназначенных к сдаче Японским Командованием, Полномочная Комиссия имеет честь сообщить, что те из них, которые будут признаны Советским Правительством подлежащими сдаче будут сданы в установленном порядке с торгов в г. Хабаровске.

8. Относительно вопроса о пользовании для сплава леса с Японского Сахалина течением реки Пилево и земельными участками по ее берегам Полномочная Комиссия полагает, что это является вопросом подлежащим рассмотрению между Правительствами Союза Советских Социалистических Республик и Японии.

MT

52633

4317

Возможные же в отношении въезда и выезда через границу 50 северной широты льготы могут быть обусловлены особым соглашением между обоими Правительствами о сплаве леса по реке Пилево.

9. По вопросу о туземцах вблизи границы 50 северной широты Полномочная Комиссия полагает, что с установлением твердой власти и охраны границы естественно будет разрешен и вопрос о гражданстве лиц, неформально еще своего гражданства.

10. По поводу пожелания Японского Командования о предоставлении гражданских прав на переданное казенное имущество общества Японских резидентов, если таковые будут организованы на Северном Сахалине с разрешения вышестоящей власти Союза Советских Социалистических Республик, то представляется очевидным, что при исходатайствовании разрешения на свое существование общества эти огворят о необходимых для них правах на пользование движимостями.

Пользуюсь этим случаем, чтобы заверить Ваше Превосходительство в моем совершенном уважении. - В.Аболтин. Шимлянников. Красников. Козлов.

"1" Мая, 1925 года, т.е. 14 года

г. Александровск.

MT

52633

4316

5-0527

0372

Ваше Превосходительство,

В связи с возбужденными нами вопросами о пользовании имуществом общественного характера и о удовлетворении отмеченных заявлений Представителей Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина, что Правительство Союза Советских Социалистических Республик всегда озабочено о благоустройстве и благе населения без различия национальностей на основе существующего законодательства Союза Советских Социалистических Республик, о чем буду счастлив оповестить японских подданных, проживающих на Северном Сахалине.

Пользуюсь этим случаем, чтобы заверить Ваше Превосходительство в моем совершенном уважении.

Его Превосходительству

Председателю Полномочной Комиссии

Ц.И.К. Союза С.С.Р. по принятию

Северного Сахалина

Господину В. АВОЛТИНУ.-

Уполномоченный Японского Правительства Командующий Японской Оккупационной Армией.

2 - 14

"1" Мая, 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.
г. Александровск.

MT

52633

4319

5-0527

0373

Ваше Превосходительство,

Приступая сего числа к подписанию Детального Соглашения о передаче управления и окончании оккупации на Северном Сахалине, Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина, в целях упрочения добрососедских взаимоотношений и экономического сотрудничества между Союзом Советских Социалистических Республик и Японией вообще, а в частности на Северном Сахалине, имеет честь заявить относительно некоторых вопросов возбужденных в виде пожелания Японским Командованием:

1. Вывоз леса, заготовленного Японскими лесопромышленниками на Северном Сахалине в количестве 700 кубов, представляется возможным разрешить при условии возбуждения ими соответствующего ходатайства и уплаты попенных денег и сборов.

2. О пастбище в Иркоре Полномочная Комиссия готова идти на встречу пожеланию Товарищества Мицубиши пользоваться означенным пастбищем, при условии возбуждения Доверенным Товарищества Мицубиши соответствующего ходатайства и заключения арендного договора сроком на 1 год.

Его Превосходительству
Уполномоченному Японского Правительства
Командующему Японской Оккупационной Армией
Г-ну Иноуэ.-

3. По поводу признания за японцами прав пользования земельными участками, сданными им в аренду Японской Оккупационной Армией для построек домов, складов, сараев и т.п. Полномочная Комиссия Правительства полагает, что для обсуждения этих вопросов нужны подробные документальные материалы относительно каждого отдельного случая, не изучении которых представится возможным составить свое мнение.

MT

52633

4318

ПРОТОКОЛ О ПЕРЕДАЧЕ ВОЕННЫХ СУДОВ И ИМУЩЕСТВА.

Уполномоченный Японского Правительства Командующий Японской Оккупационной Армией и Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина, озабочиваясь о правильной передаче военных судов и имущества, согласились о нижеследующем:

1. Осуществить фактическую передачу судов, боевых и материальных запасов по описям, с проверкой их на месте и отметкой о состоянии передаваемых имуществ.

2. Выполнение этой работы поручить Начальнику Японского Отряда Морской Охраны Капитану I-го ранга Мицунэ с одной стороны и Представителю Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина Престину с другой стороны, предложив им о передаче судов и имущества составить акты, фиксирующие общее их состояние.

3. По выполнении передачи составить общий акт, подписываемый Уполномоченным Японского Правительства Командующим Японской Оккупационной Армией и Полномочной Комиссией.

4. К Протоколу прилагается особое заявление Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина.

"1" Мая, 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.
г. Александровск.

Уполномоченный Японского Правительства Командующий Японской Оккупационной Армией:

Handwritten signature

/Казенная печать/

MT

52633

4321

Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина:

В.Аболтин. Шишлянников.

Красников. Бошкин. /Казенная печать/

MT

52633

4320

К Протоколу о передаче военных судов и имущества от 1 Мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

Особое заявление Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина.

Согласившись, в виду приближения срока эвакуации японских войск с Северного Сахалина, на фактический прием судов и морского имущества в их настоящем положении и состоянии, Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина имеет честь заявить, что продолжая оставаться на своей прежней точке зрения о необходимости передачи и принятия судов в плавающем состоянии и исправности, дальнейшее разрешение вопроса представляется на усмотрение Правительства.

Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина:

В. Аболтин. Шишлянников.
Красников. Бошкин.

5-0527

0374

ПРОТОКОЛ
О РАДИОСТАНЦИЯХ В ОХА И ЧАЙВО.

Вопрос о радиостанциях в Оха и Чайво разрешается на основании 4-го пункта обмена нот между Г.г. Ишидзава и Караханом от 20-го января 1925 года. Радиостанции продолжают работать под наблюдением Представителей органов власти Союза Советских Социалистических Республик, до урегулирования этого вопроса Правительством Союза Советских Социалистических Республик на основании той же ноты.

"1" Мая, 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Оккупационной

Армией: #2-12

/Казенная печать/

Полномочная Комиссия Центрального
Исполнительного Комитета Союза Совет-
ских Социалистических Республик по
принятию Северного Сахалина:

В. Аболтин.

Шишлянников.

Красников.

Бошкин.

/Казенная печать/

MT

52633

4323

5-0527

0375

ПРОТОКОЛ.

В целях установления научной связи и содействия мореплаванию Уполномоченный Японского Правительства Командующий Японской Оккупационной Армией и Полномочная Комиссия выражают взаимное пожелание принять меры к скорейшему разрешению вопроса об организации обмена метеорологическими бюллетенями между метеорологическими станциями Северного Сахалина и ближайшими станциями Японии.

"1" Мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Оккупационной

Армией: #2-12

/Казенная печать/

Полномочная Комиссия Центрального Испол-
нительного Комитета Союза Советских Соци-
алистических Республик по принятию Север-
ного Сахалина:

В. Аболтин.

Шишлянников.

Красников.

Бошкин.

/Казенная печать/

MT

52633

4322

СОГЛАШЕНИЕ О ПЕРЕДАЧЕ СРЕДСТВ СВЯЗИ.

Ст. 1-я. Командующий Японской Оккупационной Армией передает в ведение и собственность Союза Советских Социалистических Республик - Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина указанное ниже имущество:

§1. Проволочные телеграфные и телефонные линии со оборудованием и аппаратами:

Погиби - Александровск,

Ныйво - Дербинокое,

Дербинокое - Александровск /исключая линию, принадлежащую железной дороге легкого типа/,

Дербинокое до границы /южнее Оноп/.

Военные телефонные линии в Рыковском и в городе Александровске, по схемам № № 1 и 2.

§2. Радиостанция:

в южной части города Александровска радиостанция в 5 килоуатт.

§3. Характер и количество передаваемого имущества:

Казенное имущество, указанное в пунктах 1 и 2-м, обозначено в прилагаемых к сему опискам и разделено на две нижеуказанных категории:

а/ имущество, существующее до момента оккупации,

б/ имущество, возведенное Японской Оккупационной Армией.

ПРИМЕЧАНИЕ: При приемке телеграфных и телефонных линий фактической проверки состояния таковых не производится.

Ст. 2-я. Сроки передачи:

а/ указанное в §1 Ст. 1. имущество, находящееся в районах, обозначенных в Актах от 4-го и 14-го апреля, считаются переданными с момента подписания Актов о передаче управления в этих районах,

MT

52633

4325

б/ в остальных районах имущество, указанное в §1 и §2 настоящей статьи, передаются до полудня 15-го мая.

Ст. 3. Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина, принимая во внимание необходимость связи для японских Консульств на Северном Сахалине в случае открытия таковых, японских предприятий и частных лиц, предоставляет им право пользоваться вышеуказанными средствами сообщения на основаниях, указанных в Советском Законодательстве. Пункт этот имеет быть действительным до заключения особого телеграфного и радиотелеграфного соглашения, генерального или предварительного.

Для обеспечения связи Полномочной Комиссии с переданными уже районами /Акты от 4-го и 14-го апреля/ Штаб Японской Оккупационной Армии в г. Александровске предоставляет необходимые помещения и передает телеграфные аппараты, содействуя установлению их, на линиях, указанных в Ст. 1, §1 настоящего Соглашения.

Стороны своей Полномочная Комиссия предоставляет Штабу Японской Оккупационной Армии до 15-го мая, в целях содействия эвакуации японских войск, прямой провод между Александровским и Тойохара по проволочным телеграфным линиям через Рыковское для связи с Сахалином, находящимся во владении Японии.

"1" Мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Оккупационной
Армией: *V - W

/Каз. печать/

Полномочная Комиссия Центрального
Исполнительного Комитета Союза Советских
Социалистических Республик по принятию
Северного Сахалина:

В.Аболтин. Шилляников.
Красников. Вожкин.

/Каз. печать/

MT

52633

4324

5-0527

0376

СОГЛАШЕНИЕ О ВОЙСКАХ.

Вследствие установления окончательной эвакуации с Северного Сахалина войск Японской Оккупационной Армии к 15-му мая сего года и восстановления с 4-го и 14-го апреля власти Союза Советских Социалистических Республик в Северном и Восточном районах согласно Актов, подписанных 4-го и 14-го апреля, и возникающей по этому необходимости принять меры для обеспечения на Северном Сахалине нормального порядка - установлено, что:

1. 15-го апреля в город Александровск вводится отряд войск Союза Советских Социалистических Республик.

2. Часть отряда размещается в городе Александровске, для чего Штаб Японской Оккупационной Армии предоставляет необходимые помещения.

3. Остальная часть отряда расквартировывается в окрестностях города Александровска.

4. Штаб Японской Оккупационной Армии для разгрузки вышеуказанного отряда и грузов предоставляет места - в устье реки Александровки и на военной пристани на время, предусмотренное ориентировочным планом обхода.

5. Штаб Японской Оккупационной Армии предоставляет все удобства для установления технической связи с частями.

6. При вводе первого отряда Союза Советских Социалистических Республик в г. Александровск и выходе последнего отряда Японской Оккупационной Армии из г. Александровска происходит взаимный обмен воинскими почестями.

"1" Мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Оккупационной
Армией: *Handwritten signature* /каз. печать/

Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина: В.Аболтин, Шишлянников, Красников, Божкин. /каз. печать/

MT

52633

4327

ПРОТОКОЛ О ЖЕЛЕЗНОЙ ДОРОГЕ ЛЕГКОГО ТИПА МЕЖДУ АЛЕКСАНДРОВСКИМ И ДЕРБИНСКИМ.

1. Командующий Японской Оккупационной Армией передает безвозмездно Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина нижеприведенное имущество:

- а/ железно-дорожную линию легкого типа между Александровским пристанью и Дербинским.
- б/ принадлежности к ней проволочные телеграфные и телефонные линии.
- в/ запасные рельсы, принадлежащие к этой линии, и
- г/ однокольный рельсовый путь на Александровской пристани вместе с 28 платформами.

Передача вышеперечисленного имущества производится согласно приложенным к сему описям без проверки настоящего подомения его на местах.

2. Полномочная Комиссия принимает к сведению пожелания Японского Командования, связанные с передачей этого имущества полагая, что принципиальная сторона этого вопроса разрешена Пекинским Договором от 20-го января 1925 года.

3. Что касается претензий крестьян за отчужденные участки земли под означенную дорогу к Японскому Командованию, оставшиеся не разрешенными, то эти вопросы будут урегулированы Полномочной Комиссией.

"1" Мая, 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Оккупационной Армией:
/каз. печать/ *Handwritten signature*

Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина:

В. Аболтин, Красников,
Шишлянников, Божкин. /каз. печать/

MT

52633

4326

5-0527

0377

дел до оккупации Северного Сахалина, сохраняемые Японской Оккупационной Армией, а также документы, касающиеся управления Северным Сахалином за время оккупации.

3. Одновременно с передачей управления или до него Командующий Японской Оккупационной Армией передает Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета по принятию Северного Сахалина в вышеупомянутых районах все казенное и общественное имущество, находящееся на Северном Сахалине, вето Японской Оккупационной Армией в момент и во время оккупации в тех местах, где оно находилось во время перебеда управления, а также и в том виде, в коем оно в указанный момент находилось.

Одновременно с этим, Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина передается Японской Оккупационной Армией, на тех же основаниях, казенное имущество, приобретенное и возведенное Японской Оккупационной Армией, оставляемое ею на Северном Сахалине.

Подобно вышеуказанному казенному имуществу, Командующий Японской Оккупационной Армией передает Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета по принятию Северного Сахалина все частное имущество, находящееся на Северном Сахалине в ведении Японской Оккупационной Армии вследствие отсутствия управляющих им или неизвестности владельцев его, а также изъятые за время оккупации.

4. Настоящее Соглашение вступает в полную силу со дня подписания, но что касается отдельных, уже подписанных, соглашений относительно которых установлено, что они должны быть приведены в жизнь до подписания настоящего Детального Соглашения, то каждое из них считается вступившим в силу с обусловленного в них срока.

Настоящее Соглашение составлено в двух экземплярах, текст в которых напечатан на японском и русском языках, и подписан Уполномоченным Япон-

MT

52633

4329

ского Правительства Командующий Японской Оккупационной Армией и Полномочной Комиссией Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина с приложением печатей.

"1" Мая 1925 года, т.е. 14 года Тайшо.

г. Александровск.

Уполномоченный Японского
Правительства Командующий
Японской Оккупационной
Армией: *Handwritten signature*
/Каз. печать/

Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина:
В. Аболтин.
Шилляников.
Красников.
Божкин. /Каз. печать/

MT

52633

4329

5-0527

0378

ДЕТАЛЬНОЕ СОГЛАШЕНИЕ

О ПЕРЕДАЧЕ УПРАВЛЕНИЯ И ОКОНЧАНИИ ОКУПАЦИИ НА СЕВЕРНОМ САХАЛИНЕ.

На основании статьи 3-й протокола /А/, касающегося Конвенции об основных принципах взаимоотношений между Японией и Союзом Советских Социалистических Республик, подписанной 20-го января 1925 года, т.е. 20-го января 14 года Тайшо, в Пекине, в целях установления Детального Соглашения о передаче управления и окончании оккупации на Северном Сахалине, Уполномоченный Японского Правительства Командующий Японской Оккупационной Армией и Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина на совещаниях в г. Александровске пришли к соглашению нижеследующим пунктам:

1. Командующий Японской Оккупационной Армией эвакуирует японские войска и передает управление Полномочной Комиссии Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина по районам в нижеследующие сроки:

- а/ район к северу от 51° 10', северной широты - к полудню 4-го апреля
- б/ район к югу от 51° 10', северной широты и к востоку от 142° 30' восточной долготы - до полудня 14-го апреля,
- в/ остальные районы - до полудня 15-го мая.

Каждый раз после окончания эвакуации и перехода управления в указанных районах Командующий Японской Оккупационной Армией и Полномочная Комиссия Центрального Исполнительного Комитета Союза Советских Социалистических Республик по принятию Северного Сахалина совместно об этом опубликовывают.

2. Командующий Японской Оккупационной Армией передает Полномочной Комиссии одновременно с передачей управления все документы, касающиеся

MT.

52633

4330

5-0527

0379

歐米局長

大正四年五月十三日

電報

陸軍次官宛

外二七九

三〇五

本日正午外二五〇、二六七、二六八、書類、
日本調一分署名調印ヲ終ル

薩哈連州收領軍參謀長

五月十三日午前六時五分

五月十三日午前七時五分

二六五 口奉令は日米在ノ件
二六七 陸軍部ニ付陸軍ノ件
二六八 陸軍部ニ付陸軍ノ件

第一五

〇

〇

〇

〇

MT

52633

4331

5-0527

0300

以高

要目付了

電信課長	暗號	發電大正十四年五月十九日午前六時五分	送電番號三〇八九
主任	歐米局長	主任	歐米局長
受信	在莫斯科	發信	幣原大臣
人名	佐藤代理大使	人名	幣原大臣
件名	薩哈連引渡細目協定再調印(概)		
第	七八	號	
本月一日ヨリ五日ニ懸ケ日露代表者ハ一、行政引渡及占領終了ニ因スル何			
回協定ニ章隊ニ因スル協定 三、亞港「デルビンスコエ」間輕便鉄道引渡			
調書四「ハ、ライツオ」無線電信所ニ因スル調書 五、蒙蒙報告交			

MT 52633 4332

換ニ因スル調書	六、通信機内引渡調書 七、善隣的相互關係及
經濟的協力ニ因スル露ソ例公文ハ、公器財產使用問題ニ因スル交換	
文書及九、軍艦及財產援護ニ因スル議定書ニ調印シ十四日行政	
引渡ヲ終リ占領ヲ解除シ井上司令復一行ハ同日東船出發セル趣ナリ	
尚島田	職務ヲ執リ他ノ事務ヲ能
負トシ其休止マルコトナリ	
協定書	委細郵送ス

MT 52633 4338

5-0527

0381

機密
14.5.14

歐米第一課

海

軍

模造半葉十三行紙 147

大正十四年五月十四日 午前十一時五分 局發
午後一時十五分 海軍省著

發信者

島田

受信者 外務大臣

電報譯(暗平)

軍ハ五月十四日朝行政ノ引渡ヲ終リ占領ヲ
解除ニ井上司令官一行ハ同日乘船出發セリ

全目付

MT

52633

4334

5-0527

0382

機密
第1319號
14.5.14

要目付了

外務省官務

官房機密第1319の號

歐米第一課

大正十四年五月十三日

海軍大臣 大角 岑 生

陸軍大臣 官 殿
外務大臣 官 殿

北樺太警備艦ニ關スル件

現ニ亞港方面ニ在リテ北樺太警備中ノ第十八號逐隊ニ對シ薩哈味派遣
軍ノ撤退ト同時ニ同方面ヲ撤退内地歸還方訓令相成候
右通候ス

MT

52633

4336

機密
第156號
14.5.14

要目付了

歐米第一課

軍務一機密第二六二號ノ二

大正十四年五月十四日

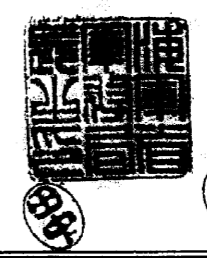
海軍省軍務局長 小林 躋

外務省歐米局長 廣田 弘毅 殿

在北樺太引渡艦船ニ關スル件

本件ニ關シ歐米機密第六九號照會ノ趣了承右ハ將來先方カ損害賠
償ノ要求ヲナスカ如キコトアルモ我ニ於テ之ニ應スルノ意嚮ハ無
之候モ當省ノ關スル限此際右ノ先方聲明ニ對シ更メテ我方主張ノ
聲明ヲナスノ必要ハ之ヲ認メサル意嚮ニ有之候
右回答ス

北樺太撤退



MT

52633

4335

5-0527

0303

外

歐米局長

總長同文

五月十四日

天正十四年五月十四日

五月十四日午後一時十五分着(上海) 薩哈哩派遣軍參謀長

陸軍大臣宛

薩參三二六

午前十時軍司令官以下同乗船

終ル正午出帆ノ豫定

第一課

支

支

支

支

MT. 52633 4337

次官

陸軍大臣宛

薩參三二七

同日正午北薩哈哩ノ占領解除ヲ完了

同時本職以下軍ノ殘餘運輸部出

就ノ所全員無事亞港出帆帰還ノ途

歐米局長

大正十四年五月十四日

五月十四日午前十時三十分着 薩哈哩派遣軍司令官



MT. 52633 4338

5-0527

0384